

結成20周年
新たな大躍進
に向け出発！

日刊 動力労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号（動力車会館）
電話 { (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

99・6・23 No. 4981



国鉄闘争勝利、反動攻撃阻止へ

第41回定期委員会開催

第41回定期委員会は6月18日千葉市民会館において開催され、99春闘、統一地方選、ガイドライン闘争など今年前半期の闘いを総括するとともに、いよいよ正念場をむかえた国鉄闘争をはじめ諸反動攻撃との闘いに総決起することを確認した。

委員会は、布施副委員長の開会のことばではじまり、資格審査発表・委員会成立宣言ののち議長に鳩飼委員（館山支部）を選出して議事が進められた。冒頭の委員長あいさつで中野委員長は、連日の奮闘に敬意を表するとともに、国鉄闘争などに総決起することを訴えた（要旨掲載）。来賓のあいさつでは9月御宿町議選に二度目の立候補を決めた鴨川支部中村俊六郎さんが必勝にむけた決意を明らかにした。田中書記長から経過報告と当面する取り組み、執行部より協約・協定報告、共済給付報告ののち質疑討論に入った。

質疑では、●貨物会社の夏季手当交渉についての経過、抗議の取り組みの強化を（千葉機関区支部）、●館山運転区への転勤希望者がいるので実現を（館山支部）。

本部執行部より、交渉経過や考え方など回答が出されたのち、経過、方針など一括採択した。つづいて「暗黒の治安立法―組織的犯罪対策三法案の成立阻止に向けた特別決議（案）」が提案、採決ののち、委員会宣言（案）が提案、採決された。議長解任あいさつののち、最後に中野委員長が団結ガンパローで第41回定期委員会は終了した。

中村俊六郎さんの決意表明

ご苦労さまです。

この度、御宿町議選挙に再度立候補することを決意しました。皆様の御協力をお願いいたします。政治の反動が進むなか、地方でも反動と闘う議員は少なくなっています。ひとりでも頑張つていく決意です。ぜひとも必勝にむけて皆様の御協力を心からお願い申し上げます。

中野委員長 あいさつ

今41回定期委員会の課題は、2月22日の第40回定期委員会から四ヵ月間の闘いの総括、5月24日ガイドライン法成立に対して労働運動の対応を含めた時代認識、10月の第27回定期大会、国鉄闘争勝利、の取り組みを決定することにあります。

第40回定期委員会では春闘・統一地方選・国鉄闘争・ガイドライン反対闘争・二十周年行事など課題山積の闘いの方針を決定し、各支部一体となつて所期の目的を達成してきました。この毎日毎日の闘いにあけられたことを学び、教訓にしていかなければなりません。連日の闘いから今日の夏季物販まで、課題をうけとめてくれたことに敬意を表したいと思います。いまの情勢をどう見るか。5月24日をもって日本は大きく変

わつたという認識、戦争体制化の労働運動という認識をもつことが重要です。これまでの戦後の五十数年とちがうということです。国会が五十数日延長され、反動法案があとからあとから出てきています。戦争をやるための法律、治安弾圧の法律、労働者の首切りと大企業救済の法律を国会で決めようとしています。公共投資や銀行救済には百兆円以上使いながら、雇用対策では五六〇〇億円しか使わない。いまの社会が誰の利益を代表しているのかはつきりしています。戦争のためにじゃまな労働運動をたたきつぶす、労働者・民衆の戦争はいやだという気持ちをつたきつぶすことを狙っています。はつきりしているのは戦後初めてこれとどう対峙し闘っていくのか、対抗する方針を確立しなければなりません。

いま日本のいたるところで分割・民営化の手法で首切りが行なわれていきます。首切りに反対する国鉄闘争の社会的影響力をなくそうと反動法案と一体で国鉄闘争破壊がかけられている、この認識が必要です。さらに二千年沖縄サミット、三里塚暫定滑走路、広島での「日の丸・君が代」など、これらは一体となつて意図的・計画的に攻撃がかかってきています。国鉄闘争がなぜ焦点化しているのか。闘う労働運動の最後の砦の位置にあるからです。敵もつぶすためにはありとあらゆる手段を使ってくる。労働者が団結して闘いにたちあがることに恐怖しているからです。

す。ところが国労内部に敵の意を呈するものがある。幹部の自己保身かもしれないが、這いつくばつてうまくいった例はない。日本の多くの労働者への裏切りです。われわれの闘いが日本の労働者にどう位置づくのか、相関関係から判断しなければなりません。国労のこうした状態を現場の組合員はよしとしない。関東四地本は連日計画以上の動員をかちとつてます。国労が闘う指導部を確立することが国鉄闘争の勝利につながります。

JR体制はうまくいっていない、借金の問題や労務体制はどうか、JR総連は書記長以下三名が不手際があつたとしてクビになっている。国労はそれを助ける形になっている。重大なことは、百年以上かけて培ってきた列車を動かす力が破綻していることです。さらに貨物の問題を認めてしまつていいのか。

労働組合は魂を売ってはいけません。われわれは基本的原則・路線はゆずれなかった。全体を見る目と働く場から見るものの両方が大切だ、そのなかから組織強化を闘いとう。

ガイドライン反動攻勢との闘いの焦点に、夏の8・6ヒロシマ集会をすえて、この力で政府の反動と対抗していこう。

結成20周年の定期大会を新しい世代の動力千葉にむけて、組合員の英知を結集し、闘う指導部と方針を確立しよう。

最後に中村俊六郎候補の御宿町議選二期目の勝利にむけた取り組みの決定をお願いしたい。